

エスペラントとは・・・私の説明

1. 国際語エスペラントの誕生

エスペラントは 1887 年にザメンホフが発表した人造国際語です。ザメンホフは現在のポーランドのビャウイストク(ビヤリストク)に 1859 年 12 月 15 日に生まれました。当時そこはロシア領でした。

ポーランドはロシア、オーストリア、プロシアにより分割が繰り返され、ついには国がなくなってしまうような状態にありました。そのような歴史を経て、当時、ビャウイストクではポーランド人、ドイツ人、ロシア人、ユダヤ人たちがそれぞれの文化と、宗教と、ことばを異にし、互いに反目し合って生活していました。

この町でユダヤ人の少年、ルドヴィーコ・ザメンホフは、その原因はことばが違うための相互理解の困難さと、宗教の違いだと考え、公平・中立・学習の容易な共通のことばを作り、相互理解を深め、平和な世の中を作ろうと、既存の言葉(自然語)を整理してエスペラントを作りました。1887 年に「第 1 書」を出版・発表しました。ザメンホフが眼科医となり、結婚した後、27 歳の時のことでした。

2. エスペラントの現在

国際語エスペラントを学び、その趣旨に賛同する者、エスペランチストは、学習・交流や普及活動をおこなっています。1887 年のエスペラントの誕生後 1905 年にはフランスで第 1 回世界エスペラント大会が開かれました。日本では 1965 年、そして 2007 年に世界エスペラント大会を招致しています。また、日本エスペラント大会は 2013 年に第 100 回大会を行いました。関西エスペラント大会を含め、国内各地でも様々な大会が行われています。

エスペラント会や協会も各地にたくさんあります。法人格を持っている団体もあります。宗教法人においてもエスペラントの目指すものと、教義が一致するとのことで信者にエスペラント学習と実践を奨励している事例が国内外にあります。

国際的な組織としては、世界エスペラント協会が最も大きく、一般的な(専門にしぼらない)活動をしています。日本人が会長になったこともあります。

インターネットでもエスペラントは盛んで、無数のサイトと、無数の YouTube があります。Wikipedia のエスペラントによる記事の数は言語別では 32 位です。また、google はインターネット上でエスペラントの自動翻訳・辞書のサービスを提供しています。

3. エスペラント界はどんなところ。、それは「都会的な村」

2022 年のワールドカップでドイツに勝ち、スペインにも勝った、日本チームの森保一監督は「日本のサッカーファミリーの皆様、国民の皆様」と応援感謝の言葉を語りました。その言葉を借りれば、地球上にはエスペラントファミリーが存在するのです。

エスペラントの世界・集まりは不思議な集まりで、他の、村や趣味の集まりだったら話す内容、やることが有る程度共通のところ、様々な分野の人、様々な世界の人が居て、なんでも語っています。エスペランチストはお互いに会う前から相手のことを友達とみなしている。普通なら対立したり、別世界に居るような人々も、親密な関係でエスペラント界には居る。と言うのです

即ち、あらゆる分野の人々、外国人も含めて、しかし交わることの少ない人々の居る都会でありながら、まるで村のように、お互いに知り合って親しい世界。エスペラントの世界は「都会的な村」だと言うのです。

参考:

伊東三郎「エスペラントの父ザメンホフ」

木村護郎クリストフ「節英のすすめ」、第 100 回日本エスペラント大会記念公開講演会(2013 年)報告集「世界と日本における対話の懸け橋としてのエスペラント」